

# 必修科目

	授業科目名	授業の目的と主な内容	1年次		2年次	
			前期	後期	前期	後期
必修科目	ホテル概論	ホテルとは何か。宿泊産業の全体像と共に理解する。	●			
	宿泊理論・実技Ⅰ	フロントサービス、ハウスキーピングなどの業務の基本を学び、マナー・挨拶・客室サービスなどの基本訓練を行う。	●	●		
	宿泊理論・実技Ⅱ	フロント、宿泊全体の知識の上に各セクションの業務について更に理解を深め、マナー・サービス訓練の仕上げを行う。			●	●
	F&B理論Ⅰ	料飲部門、宴会部門、イベント・コンベンション、ブライダルの各部門のサービスの基本を学ぶ。	●	●		
	F&B理論Ⅱ	料飲部門のマナー・サービスを基本にイベント・コンベンション、ブライダルサービス、F&Bコントロール、原価計算などを学ぶ。			●	●
	F&B実技Ⅰ	料飲部門、宴会部門、イベント・コンベンション、ブライダルの各部門におけるマナー・サービスの訓練を行う。	●	●		
	F&B実技Ⅱ	料飲部門、宴会部門のマナー・サービス訓練の仕上げを行う。			●	●
	ホテル英語・専門用語	日本人講師により丁寧な表現、婉曲的な言いまわしなどホテル業で必要となる英語を学ぶ。	●	●	●	●
	実習教育概論	ホテル実習に向けて実習の意義や目的の理解、心構えや態度、スキル、そして実習先の事前知識などを身につける。	●			
	国内ホテル実習	国内一流ホテルでの実習をとおりて宿泊実務、料飲実務、宴会実務などの接遇の基本を学ぶ。	●	●		
	国内ホテル研修旅行	国内の一流ホテルの施設、サービスを実地に体験・研修する。	●			
	海外ホテル研修旅行	海外の一流ホテルの施設、サービスを実地に体験・研修する。				●
	イベント企画(行事)	学校行事への参画により、各種イベント(催し物)の事前準備から実施までを学ぶ。	●	●	●	●
	ホテル宿泊予約システム(オペラ)操作訓練	外資系ホテルで多く使用されている宿泊予約システムの操作を学ぶことで、ホテル予約端末操作を覚える。			●	●
	ホテルマーケティング&マネジメント	ホテルを取り巻く環境、ホテルの主要部門である宿泊・料飲・宴会や営業など各部門のみならず管理部門について理解し、ホテル業界の抱える課題について考える。			●	●
	ブライダル総論ⅠⅡ	ブライダル産業の歴史・業界、結婚式から披露宴、プランナーの業務等を一般的に学ぶ。	●	●	●	●
	ブライダルマーケティング&セールス	ブライダルマーケティングの基礎、市場調査、商品開発、セールスなどを学ぶ。	●	●		
	観光総合演習	幅広い観光産業について視野を広げ、職業人として通用する掘り下げた知識、スキルを磨く。			●	●
	ブライダルコーディネーター技能検定対策	ブライダルコーディネーター技能検定3級の資格取得を目指す。			●	●
	ソーシャルスキル	コミュニケーション	学校生活マナー・ビジネスマナーを身につけ、自己PR能力・コミュニケーション能力を磨く。また国内ホテル実習にも備える。		●	●
ビジネス実務		事務処理の基本、履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方、自己啓発の進め方を学ぶ。また国内ホテル実習・秘書技能検定にも備える。	●	●	●	
ホスピタリティ		さまざまな観光業界のホスピタリティについてプロ・カリスマといわれる講師の話聞き、自ら発見する。	●			●
グループアクティビティ		ホームルーム活動により役割意識、自己PR能力、自己啓発力を高める。	●	●	●	●
就職ガイダンス		就職活動に向けてホテル・レストラン・日本旅館の研究・個人面接指導などを行う。		●	●	
常識	一般教養	社会人に求められる一般常識を広く学ぶ。	●	●		
技能	パソコンⅠⅡⅢⅣ	パソコン操作の習熟とホテルですぐに役立つ文書・リスト作成・Eメール・Web検索技能を習得する。	●	●	●	●
英語	英会話	外国人講師の指導により日常英会話力、ビジネス英会話力を磨く。	●	●	●	●
	TOEIC基礎ⅠⅡ	日本人講師の指導によりTOEICをベースに日常英語を学ぶ。	●	●	●	●
資格対策	ホテルビジネス実務検定対策	ホテルビジネス実務検定(H検)のベーシックレベル2級及び1級の取得を目指す。	●	●		
	ビジネス能力検定ジョブパス対策	ビジネス能力検定ジョブパス3級及び2級の資格取得をめざす。(前期・後期連続科目)	●	●		

※カリキュラムは変更になる場合もございます。